

[成果情報名]「させぼ温州」若齢樹の果実肥大と品質の時期別目安値

[要約]「させぼ温州」若齢樹における収穫時の果実階級が L M級果となるための生育期の果実横径の時期別推移と収穫時果実糖度が 13 以上となるための果実品質の時期別推移は、目安値として活用できる。

[キーワード]させぼ温州、横径、糖度、酸含量、目安値

[担当]長崎果樹試・生産技術科

[連絡先]電話 0957-55-8740、電子メール s26700 @ pref.nagasaki.lg.jp

[区分]果樹

[分類]指導

[背景・ねらい]

若齢樹の「させぼ温州」は、見かけの樹相とは異なり強勢であることなどの要因から果実が大玉果となりやすく高品質な果実生産に苦慮している。そこで、収穫時に高品質な LM 級果実を生産するための果実横径の時期別の推移と収穫時に糖度 13 以上となるための果実品質の時期別推移による目安値を作成する。

[成果の内容・特徴]

1. 収穫時に L M 級果となった糖度 13 以上の果実の横径は、生育期間中標準偏差が 2 前後で推移しており、目安値として活用できる（図 1、表 1）。
2. 商品価値の高い M 級果となる果実横径は、8 月 1 日に 40 mm、9 月 1 日に 50 mm、10 月 1 日に 59 mm、11 月 1 日に 64 mm 程度で推移する。このときの 10 日間の肥大量は、9 月上旬までは 3 mm 程度、10 月上旬までは 2 mm 程度、10 月末までは 1 mm 程度、11 月以降は 0.5 mm 以下となる（表 1）。
3. 果実糖度は、年次間の標準偏差が小さく目安値として活用できる。酸含量は 10 月までは標準偏差がやや大きいですが、収穫 1 カ月前からは小さくなる（図 2、表 2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 目安値のデータは、樹齢 8 年生～12 年生樹の「させぼ温州」において得られたものであり、果実横径は目標値を満たす 4 カ年（L 級果）3 カ年（M 級果）、果実品質は 4 カ年の調査データより作成したものである。
2. 本成果は、マルチ栽培においてエチクロゼートを熟期促進や夏秋梢抑制を目的に散布をした樹であることに留意する。

[具体的データ]

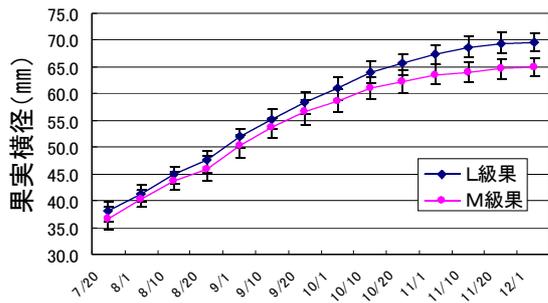


図1 収穫時でL M級果となる果実横径の肥大推移

表1 収穫時でL M級果となる果実横径の肥大推移

月/日	7/20	8/1	8/10	8/20	9/1	9/10	9/20	10/1	10/10	10/20	11/1	11/10	11/20	12/1	
満開後日数	87~92				118~123				148~153			179~184			209~214
L級果	38.0	41.2	45.0	47.6	51.9	55.3	58.4	61.1	64.0	65.7	67.3	68.7	69.4	69.6	
標準偏差	1.8	1.6	1.4	1.8	1.6	2.0	1.9	1.9	2.1	1.7	1.8	2.2	2.1	1.7	
10日間肥大量		3.2	3.8	2.6	4.3	3.3	3.2	2.6	3.0	1.6	1.6	1.3	0.8	0.2	
M級果	36.7	40.4	43.8	46.0	50.2	53.7	56.5	58.7	61.1	62.2	63.6	64.1	64.6	64.9	
標準偏差	2.0	1.5	1.7	2.3	2.1	1.9	2.2	2.2	2.0	2.2	1.9	1.8	1.7	1.7	
10日間肥大量		3.7	3.4	2.2	4.2	3.5	2.9	2.2	2.4	1.1	1.4	0.5	0.5	0.3	

注) L M級果実は、収穫時糖度13をクリアしたものである。

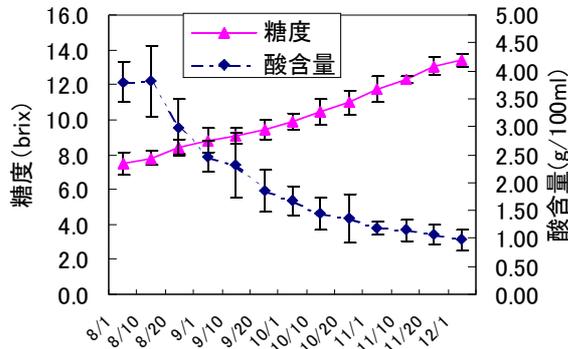


図2 収穫時の糖度13以上となるための果実品質の推移

表2 収穫時糖度13以上となる果実品質の時期別の推移

月/日	8/1	8/10	8/20	9/1	9/10	9/20	10/1	10/10	10/20	11/1	11/10	11/20	12/1
満開後日数	87~92			118~123			148~153			179~184			209~214
糖度	7.5	7.8	8.5	8.8	9.0	9.5	9.9	10.5	11.0	11.8	12.3	13.1	13.4
標準偏差	0.6	0.4	0.4	0.7	0.5	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.2	0.5	0.4
酸含量	3.79	3.81	2.99	2.47	2.31	1.86	1.68	1.44	1.36	1.19	1.15	1.06	0.97
標準偏差	0.36	0.64	0.51	0.28	0.58	0.38	0.27	0.29	0.42	0.12	0.20	0.18	0.18

[その他]

研究課題名 : 長崎ブランド「出島の華」の安定生産技術の確立
 予算区分 : 県単
 研究期間 : 2004 ~ 2007 年度
 研究担当者 : 古川 忠、林田誠剛